

# トピックス TOPICS



## 「もっとアルシエ、ずっとアルシエ。」



多くのボランティアの方が参加して、もうと思っ情報、また、何かを始め、そのきつけを、つかめる情報を発信していきます。

「ニッポンアルシエ」  
2004年2月に発刊された「アルシエター」創刊号から、2007年10月までの間に、特別号を含め11回アルシエターを発刊することができました。

このアルシエターは、NPO法人北播磨市民活動支援センター（愛称クスクス・アルシエ）の広報誌として、ボランティアの方々の活動の様子、アルシエが行なう様々な自主事業、そして市民活動に参加あるいは市民活動を支援されている方々のインタビューを行なってきました。

アルシエはNPO中間支援組織としての活動、エクラの管理運営、行政業務（小野市男女共同参画センター、小野市国際交流協会、小野まつり実行委員会など）のアウトソーシングの受け皿としての機能があります。この中間支援組織としての活動、機能としての役割を果たしていくためには、多くのボランティアの方々の参画なくしては成り立っていきません。

そこで、今回の11号からは、一人でも多くのボランティアの方が参加して、もうと思っ情報、また、何かを始め、そのきつけを、つかめる情報を発信していきます。

ひとつの事業について、実行委員会立ち上げから事業終了までを追って、ボランティアの方がどのような想いで活動をされているか、また問題に当たった時にどう解決していくか、事業遂行するに当たって様々な角度からボランティアの皆さん取材します。

また、シリーズ「聞く」は、市民活動の第一線で活動されている方々の現場の声を掲載していきます。

アルシエ広報委員長

Q. アルシエターはエクラ以外のどこに置いてあるの？

A. 北播磨地域の市役所・役場・図書館  
その他、SATY・コミセン・好古館・ひまわりの丘公園  
市民病院・JRコミュニティールーム など。

Q. どんな人が作っているの？

A. 文章を書くのが好き、写真を撮るのが好き、人と会うのが好き、お茶を飲みながらお喋りするの好き・・・  
な、20代から60代までの老若男女11名で作っています。



パネル展示でこんな質問がありました。

## アンケート100人に聞きました

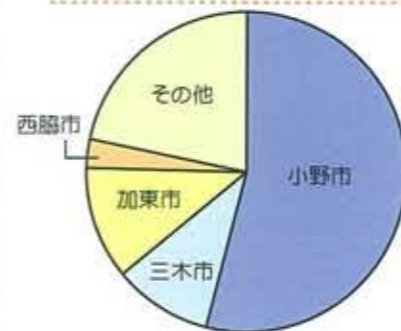
紙面リニューアルに向けて実施したアンケートは、12月16日のサロンステージ、23日のガル・コンサートにお越しになったみなさんにお聞きしました。アンケート用紙を手にした我々広報部員が笑顔で(^o^) お声掛けさせていただき約100名の方がご協力くださいました。結果は以下のとおりです。みなさん、ありがとうございました!!



アンケートと併せて、12月15日から26日までの期間ハートフルサロンにおいて、アルシエターを知っていただくためのキャンペーンをしました。

## アンケート結果

### ① どこから来られましたか？

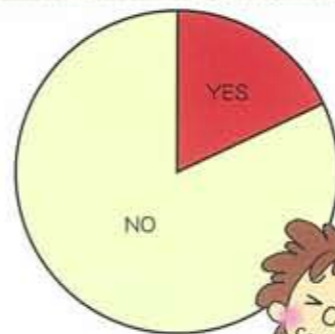


小野市の方が多かったね。神戸市や加古川市、姫路市から来られてる方もいたよ。



これまで発行したアルシエターのダイジェスト版や、皆さんからのご意見を直接いただける掲示板などを展示しました。掲示板に寄せられた質問には、このページでお答えしています！

### ② アルシエターを読まれたことはありますか？



残念

### ③ 印象に残った記事などがあれば教えてください。

- ・ボランティアの活動報告
- ・シリーズ聞く(9号の事務局長インタビュー)
- ・CS神戸の皆さんとのパネルディスカッション
- ・写真がキレイだと思った
- ・エクラのイベント情報



アルシエターを見てコンサートに来てくださった方や、人材バンクに登録された方もおられたよ。

## ムコちゃんをつぶやき

(2007年12月24日のブログ「アルシエ日誌」より)

今日は、12月24日。アルシエの誕生日です。私どもNPO法人北播磨市民活動支援センターが、法人格を取得したのが、平成15年12月24日。クリスマススイブがアルシエの誕生日です。それ以来、毎月24日は、自分を振り返る日にしています。(といっても、一日が終わってから、後で「今日は24日だった!」と気づくバタバタの日も多いのですが...)

私にとって、もう一つの大切な日があります。それは、平成17年4月3日です。私が、首からぶら下げている職員名札の中に大切にしまっているものがあります。何だと思われませんか？

「正解は、『小野市うるおい交流館エクラ』こけら落し公演第一弾「服部克久wiiセト東京ポップスオーケストラ」14列9番のコンサートチケット。

文化面については、素人集団の私達が、本当に五百名ものお客さまをお迎えし、コンサートが開催できるのだろうかと不安で不安で、当時は、文字通り眠れぬ日々を過ごしていました。

コンサート前日、新神戸駅まで「服部克久wiiセト東京ポップスオーケストラ」の一行をお迎えに行った時、新幹線から降りてこられる皆さんのお顔を見て「良かった! 本当に来てくださった!」と胸をなでおろしました。

「当たり前なこと」が当たり前でなく、必要以上に緊張していた、あの頃のウブな(?)自分の姿を思い返せば、笑ってしまいますが...

当日、満席のエクラホールで、服部克久さんのタクトが振られ演奏が始まった瞬間、平成15年4月から、エクラオープンまで、猛ダッシュで準備してきた日々の出来事が次々と鮮明に蘇ってきました。

お客さまをお迎えするにあたっての数々の研修やマニュアル作り。ボランティアのみなさんと一緒にした初めての避難誘導訓練。外溝工事完成前のエクラへの出勤で職員みんな、いつも泥だらけだったことなど。

あの感動から既に40回近いコンサート回数を重ねて参りましたが、毎回コンサートでお客さまをお迎えする前には、必ず名札に手をあて「初めての日の感謝の気持ちを忘れずに」と2年半前のお日の自分に立ちかえっています。

みなさまのご支援のお蔭をもちまして来年3月には、エクラ開館3周年を迎えます。開館3周年記念事業として、平成20年2月24日(日)午後2時から、ハートフルサロンにおいて高石ともやさんをお迎えします。奇しくも当法人にとっても大切な「24日」です。エクラのお祝いは、応援していただいたみなさんと一緒に「という思いを込め、高石さんをお祝い、みなさんでワイワイ盛り上げていただけたらと実行委員会のメンバーと企画しました。ぜひ、ご参加ください。

みなさんのお越しをスタッフ一同心よりお待ちしております。

事務局長 向山 良子